

第16回 宮前区のまちづくりにおける公共機能検討会議

日 時：令和7年5月20日（火） 9:40から

場 所：本庁舎7階 特別会議室

1 宮前区のまちづくりにおける公共機能の検討について

2 その他

（配布資料）

委員名簿

資 料 1 宮前区のミライづくりプロジェクト（令和6年度の実施等）について

宮前区のまちづくりにおける公共機能検討会議 名簿

令和7年5月20日

	委員
座長	藤倉 茂起 副市長
副座長	加藤 順一 副市長
副座長	三田村 有也 副市長
1	総務企画局長
2	財政局長
3	市民文化局長
4	経済労働局長
5	健康福祉局長
6	こども未来局長
7	まちづくり局長
8	建設緑政局長
9	宮前区長
10	交通局長
11	消防局長
12	教育次長

1 取組状況に関する市民周知等

・令和6年度は、再開発事業の進捗状況等に合わせ、次のとおり市民周知等を行った。

内容・目的	手法	時期・タイミング
取組や再開発の進捗状況の周知	オープンハウス型説明会（パネル展示＋個別説明）	2月
	ニュースレターの発行（宮前区内全戸配布）	2月
	ポータルページ、市政だより、デジタルサイネージの活用 等	随時
市民ニーズの把握	各イベントにおける市民へのヒアリング 等	随時
	ネット質問フォーム（主な質問と市の考え方を公表）	随時



市政だより特集
(宮前区版/令和6年12月号)



ニュースレターvol.6
(令和7年2月発行)

■オープンハウス型説明会

- 令和6年7月に準備組合から提出された事業進捗の報告や11月の組合設立認可の内容を踏まえ、見直しを行った、再開発や公共機能移転に関する今後の取組とスケジュールについて、2月に宮前区内4か所でオープンハウス型説明会を実施。（計6回／約2,750名へ周知等）
- 新しい宮前市民館・図書館に関する検討状況や、鷺沼駅前地区再開発事業の概要・取組状況などについてニュースレターを配布するとともに、希望者に対しては、展示パネルを用いた説明や質問・意見に直接対応した。

日時	2月7日(金) 10時～14時	2月8日(土) 10時～14時	2月13日(木) 10時～14時	2月14日(金) 13時～17時 ※駅前イベント同日	2月15日(土) 11時～17時 ※駅前イベント同日	2月19日(水) 10時～14時
会場	宮前市民館 (エントラスホール)		有馬・野川 生涯学習支援 施設(アリーナ)	鷺沼駅前		向丘出張所
実績	約160名	約170名	約90名	約1,090名	約1,200名	約50名



[宮前市民館(2月8日)] [鷺沼駅前(2月14日)]
オープンハウス型説明会の開催の様子

※前年(R5)実績：計5回で約2,250名

■主な意見・質問

＜新区役所・市民館・図書館について＞

- ・新施設の完成に期待する意見
- ・図書館について子連れや高齢者の利便性向上を求める意見 など

＜現区役所等施設・用地の活用について＞

- ・ダンスができたり、家族連れが遊べる広場整備を求める意見
- ・学習、読書などができる機能を求める意見
- ・市民の交流や活動ができる場所づくりを求める意見 など

＜駅アクセス向上について＞

- ・新たな鷺沼駅のバスロータリーに期待する意見
- ・向丘地区等からのバス路線の新設や増便を求める意見 など

＜再開発事業について＞

- ・早期の事業完了を求める意見
- ・工事期間中の交通動線などの丁寧な情報提供を求める意見
- ・事業期間中の生活利便性の確保に関する意見
- ・再開発、公共機能移転に関して反対する意見 など

2 新宮前市民館・図書館・区役所の整備に向けた取組

<新宮前市民館・図書館>

(1) 令和6年度の取組概要

- 駅前街区、北街区に整備が予定されている新宮前市民館・図書館について、再開発事業のスケジュール変更を踏まえ、施設全体の計画・設計等との調整を行いつつ、「新しい宮前市民館・図書館基本計画」に基づき、基本設計を実施

基本設計の概要

■空間づくりのポイント

- ①市民館と図書館の機能を融合した配置とし、新たな気づきや利用者同士のつながりを誘発する。
- ②飲食や会話が可能なスペースを設け、気軽に立ち寄って利用できる。
- ③市民館の会議室等を読書や学習できるスペースとして開放するなどフレキシブルに施設を利用する。
- ④市民館・図書館と商業施設が相互に係りを深め、相乗効果を生み出しながら、官民連携による事業・サービスを提供する。

■各フロアのポイント

- 3階 市民館・図書館のメインエントランスで、図書館のオススメ本の配置やイベント開催などフレキシブルに利用でき、官民連携の中心にもなるにぎわいのフロア
- 4階 様々な演目に対応可能な大ホールや会議室を配置するとともに、気軽に立ち寄って利用できる児童図書コーナーやオープンスペースを配置した、交流と憩いのフロア
- 5階 体育室やスタジオなど活動のスペースや、一般図書を配置した、新たな発見やつながりを誘発する学びのフロア

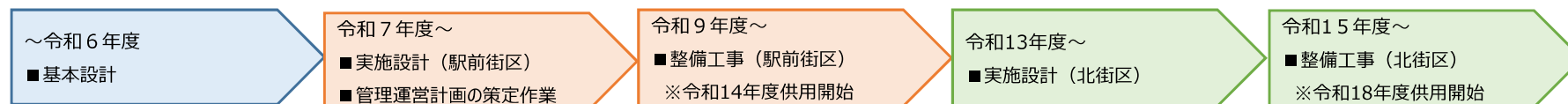
■内装工事費の概算額

駅前街区：約8.5億円 北街区：約1.4億円

※内装工事費は概算額であり、今後実施する実施設計において、正確な数量算出等を行いながら精度を高める。また、内装工事費には整備期間に応じた物価上昇を含む。

(2) 今後の取組

- 再開発事業の設計等と調整を図りながら、実施設計を進めるとともに、効率的・効果的な管理運営が行われるための「管理運営計画」の策定に向けた取組を進める。
- 官民の垣根を超えたフレキシブルな施設利用や施設全体として一体感が感じられる運営等の工夫について再開発組合と協議を進め、魅力的な施設づくりを進める。
- これまでの検討してきた内容について、進捗状況を議会等へ報告する。



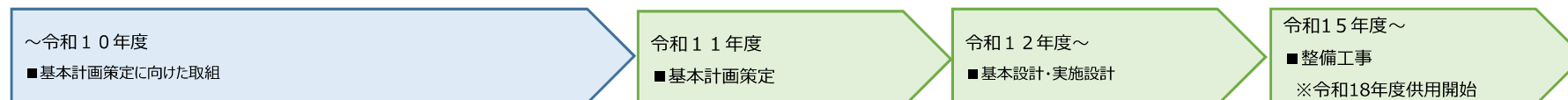
<新宮前区役所>

(1) 令和6年度の取組概要

- 北街区に整備が予定されている新宮前区役所について、施設全体の計画・設計等との調整を図るとともに、市民館小ホールの北街区配置に伴うレイアウト等の調整を実施

(2) 今後の取組

- 施設全体の計画・設計等との調整を行いつつ、新宮前区役所の基本計画の策定に向けて、デジタル化の状況等を踏まえた区役所サービスの取組検討と整合を図り、検討を進める。



3 現区役所等施設・用地の活用に向けた取組

(1) 令和6年度の取組概要

①これまでの検討状況と、今後の検討の進め方について中間報告

●活用検討の方向性について

- ・検討の軸となるコンセプトとして、「現施設が培った風土の継承」「災害に強いまちの実現」「子ども・若者が活躍できる場所」「チャレンジができる場所」といった候補が一例として考えられ、そのコンセプトや派生する導入機能が将来的に当該地に相応しいかどうかについては、引き続き検討。
- ・フェーズフリー（平常時や非常時などのフェーズに関わらず有効に利用できること）やミクストユース（多様な用途）の概念を取り入れつつ、可変性を持たせ実験的な活用・検証を行いながら、段階的に構築していくことが有用。また、時間軸のデザインを意識しながら、市民による提案・参画の機会を積極的に設けることで、活用に向けた検討を深めて行くことが重要。

●今後の取組について

- ・スケジュール変更によって生じた時間を最大限に活かすため、新たな取組として、これまでの検討で浮かび上がってきた活用コンセプトの候補や、具体的な市民アイデアを活かし、実践的な取組や意見交換を実施する。併せて、行政需要との調和や、民間事業者への事業性等の確認も行いながら、持続可能性を考慮した検討を深めていく。
- ・方針の骨子として令和9（2027）年度に基本的な考え方を取りまとめたのち、令和10（2028）年度に活用基本方針を策定。
- ・引き続き幅広く市民の声を聴きながら、各段階に応じた市民参画による実践的な取組を続けていく。



活用基本方針の策定に向けた取組イメージ（ニュースレターvol.5（令和7年2月発行）から抜粋）

②ニュースレターの発行

- ・検討の進捗を踏まえて、ニュースレターを2回発行。
[vol.4] 5月発行（市民検討ワークショップの結果）
[vol.5] 2月発行（検討状況の報告）

(2) 今後の取組

①検討スケジュール

- ・新たな取組を進めながら、行政需要との調和や、民間事業者への事業性等の確認も行い、令和10（2028）年度に活用基本方針を策定。



②令和7年度の主な取組

●活用検討に関する新たな取組

- ・これまでいただいた市民アイデアを活かした取組を現地で実際に試してみるなど、実践的な取組を実施。

4 向丘出張所の機能の充実にに向けた取組

(1) 令和6年度の取組概要

●活用方針に基づく取組

- ・「宮前区役所向丘出張所の今後の活用に関する方針」に基づき「多世代が気軽に立ち寄り、人や活動がつながる、向丘地区の核となる出張所」を目指し、市民と一緒に、出張所の一層の活用を図るための取組を推進
- ・これまで実施してきた地域団体主催交流イベントの開催、地域情報の発信、図書サービスの充実などの取組を継続するとともに、庁舎へのアプローチ改善や庁舎の休日・夜間利用など中期（令和6～7年度）の取組を推進

≪機能ごとの主な取組内容≫

機能① | 庁舎へのアプローチ改善(R6設計、R7完成予定)
「向丘出張所」バス停にバスベ이를設置するに当たり、令和6年4月に向丘地区連合自治会役員会、5月に向丘地区社会福祉協議会理事会へ説明。意見を踏まえ、庁舎へのアプローチ改善も含めた設計を着手

【主な意見】

- ✓バス待ちの人や切下げ道路利用者と、駐車場を利用する車との接触が心配。安全に配慮した計画として欲しい
- ✓斜路の不陸が目立つ。歩きやすく改良して欲しい
- ✓裏側のスペースに駐車マスを整備して利用できるようにしたらどうか

機能② | 庁舎スペースの有効活用

- ・コミュニティカフェ、子育てサロン等の交流イベントの開催
- ・庁舎の更なる活用に向け、区民活動支援コーナー登録団体への行政会議室の貸出を実施。また、アンケート調査で庁舎利用ニーズを把握するとともに、休日・夜間に開催した「向丘つながるサンデー」「お月見カフェ」等の実証実験を踏まえて利用条件を検討

「お月見カフェ」
(②活動・交流の場)



機能③ | 地域情報の受発信の充実

向丘出張所や地域で行われるイベント情報等を「向丘みんなの掲示板」、地域情報紙「向丘スクエア」、ホームページ等で受発信



「向丘みんなの掲示板」「向丘スクエア」(③情報受発信)

機能④ | 生涯学習講座の開催

市民館と連携した人材育成講座「本でつながるまちづくり」や、地域団体と連携した認知症・終活・相続講座等を開催



終活講座 (④生涯学習)

機能⑤ | 図書サービスの充実

図書の貸出、図書ボランティアによるおはなし会の開催、本棚を期間限定で貸し出す「むかおか みんなの本棚」の設置

機能⑥ | 防災の広報

宮前消防署と連携し、防災や救等に関するチラシ等を配架

機能⑧ | 行政手続

オンライン相談導入事例の調査や課題を整理

機能⑦ | 地域の身近な相談拠点

コミュニティカフェにおける地域ボランティアと連携した健康やスマホ等の相談コーナーの設置、子育てサロンでの専門職員の出張相談の実施等



スマホ相談 (⑦相談)

≪取組成果のデータ≫

活用方針に基づく取組により、来庁者も増加している（令和4年と比較し12%増）

	R4年度	R5年度	R6年度
来庁者数	13,748人	15,774人	15,462人
(内訳)図書貸出	102人	580人	666人
イベント参加	2,058人	4,371人	4,437人
会議室等利用	2,543人	2,959人	3,130人
証明書発行	9,045人	7,864人	7,229人

	R4年度	R5年度	R6年度
開催イベント数	37回	65回	74回

(2) 今後の取組

- 引き続き、向丘出張所での市民相互の活動や交流をより一層促す仕組みづくりを進める。また、「機能8 行政手続」の取組については、行政手続のデジタル化・オンライン化などの動向を確認するとともに、オンライン相談においては、導入に向けた具体的な検討を進める。併せて、デジタルデバйд対策としてオンライン手続や相談のサポート手法を検討する。
- 鷺沼駅周辺の再編整備、横浜市高速鉄道3号線の延伸による周辺のまちづくり等の取組と整合を図りながら取組を推進する。

4 向丘出張所の機能の充実に向けた取組

◇活用方針に基づく各取組の状況について

- 向丘出張所では、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」における「市民創発」により、地域の様々な主体との連携や、主体間のコーディネートなど、行政だけでなく市民と一緒に、基本的な考え方の実現に向けて取り組むこととしています。
- 各取組は、「短期（R4～R5）」「中期（R6～R7）」「中長期（R6～）」の取組期間を目安に取り組めます。

■ 実施済み □ 推進中

機能① 地域の居場所

主な取組	期間	取組状況
明るく開放的な庁舎を目指した空間的工夫と什器設置	短期	木質化リノベーション工事实施、風除室内の内装工事实施、木製什器設置、BGM放送開始
設備の快適化	短期	トイレ・給湯室を改修
庁舎へのアプローチ改善	短期	呼び出しブザー・案内表示設置、車いす使用者の動線確保とソフト対応実施、庇補修工事实施
	中期	バスベイ設置と合わせた改修工事に向けた庁内調整、詳細設計を実施

機能② 活動・交流の場

主な取組	期間	取組状況
庁舎スペースの有効活用	短期	会議室等を活用し、地域団体と連携した交流イベント開催、展示等の多様な手法によるイベント試行
	中期	区民活動支援コーナー登録団体への行政会議室の貸出実施
インターネット利用環境の整備	短期	かわさきWi-Fiの設置
	中期	利用状況を踏まえて今後の取組を検討
休日・夜間利用	中期	夜間・休日の庁舎活用に関するアンケート実施、実証事業実施
	中期	夜間・休日利用に関するハード面の課題整理

機能③ 情報発信

主な取組	期間	取組状況
地域の実情に即した情報発信手法	短期	向丘出張所ホームページやSNS等でイベント情報等発信、イベントや会員募集等のチラシを掲示できる「みんなの掲示板」を運用
地域情報を受信し発信する手法	中期	地域情報紙「向丘スクエア」を発行し、地域のイベント・団体等の情報を受発信

機能④ 生涯学習

主な取組	期間	取組状況
区役所・市民館・地域団体との連携による講座等の試行	短期	市民館等との連携による生涯学習講座実施
地域における持続的な生涯学習の機会の提供	中期	地域団体との連携による生涯学習講座実施

機能⑤ 図書サービス

主な取組	期間	取組状況
図書サービスの提供	短期	図書コーナー設置
	短期	図書ボランティアとの連携によるおはなし会の開催、図書コーナーの本棚を貸し出す「みんなの本棚」設置

機能⑥ 防災

主な取組	期間	取組状況
情報収集や広報機能等の強化	短期	宮前消防署と連携し、防災や救急等に関するチラシ等配架
備品整備に向けた検討	短期	災害時用の備蓄品（飲料水、毛布、アルファ米等）整備

機能⑦ 相談

主な取組	期間	取組状況
地域の身近な相談拠点	短期	子育てサロン等において区役所等の専門職員の出張相談実施、認知症講座等の開催に併せ参加者が区役所の専門職員に相談する機会を提供、様々な問合せ等に対し、適切な窓口につなげる取組を実施
	中長期	コミュニティカフェにおいて、地域のボランティアと連携した終活等の相談実施
	中長期	オンライン相談導入事例の調査や課題整理

機能⑧ 行政手続

主な取組	期間	取組状況
行政手続の利便性向上や分かりやすい窓口サービス提供の検討	短期	行政手続の原則オンライン化の実施、行政手続の利便性の向上や分かりやすい窓口サービスの提供に向け取組の検討
	中長期	オンライン手続等の推進とデジタルデバйд対策としてのサポート手法検討

5 再開発事業に関する取組

(1) 令和6年度の取組概要

●準備組合からの進捗状況に関する報告

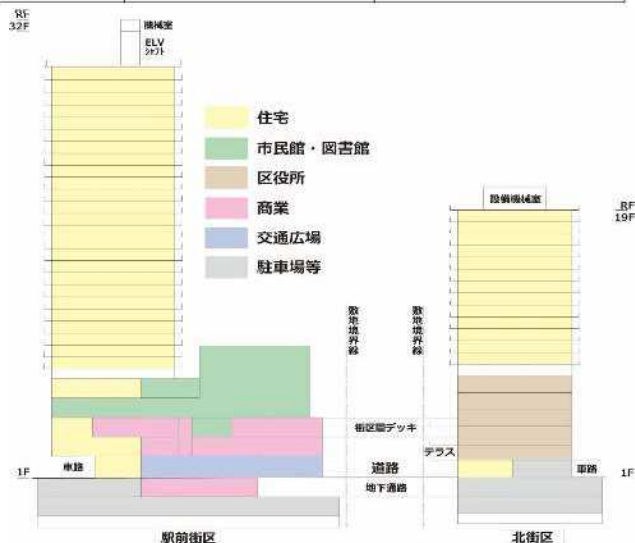
準備組合において、資材費・労務費の高騰など、昨今の社会経済情勢の変化への対応も図るなどし、令和6年7月に準備組合から市に対して、深度化した設計、事業計画の内容、事業費やスケジュールなどを取りまとめた、再開発事業の進捗状況に関する報告書の提出があった。

準備組合報告資料等を基に作成

《建物計画》

令和6年4月の環境影響評価から、施設整備内容を一部変更

	駅前街区	北街区
階数	37階 → 32階	20階 → 19階
最高高さ	146m → 133m	92m → 89m
住戸数	380戸 → 342戸	130戸 → 110戸



※本イメージは現時点での検討状況であり、今後の設計等により変更となる可能性がございます。

《資金計画》

収入項目 (※)		支出項目	
項目	金額(百万)	項目	金額(百万)
保留床処分金	65,180	調査設計計画費	4,280
補助金	21,877	土地整備費	1,573
(内訳)		補償費	1,813
市街地再開発事業補助金 19,057百万		工事費	77,058
防災・省エネ緊急促進事業補助金 2,820百万		事務費	612
：事業計画書「補助金算出根拠」より		借入金利子等	1,164
公共施設管理者負担金	943	その他	1,500
合計	88,000	合計	88,000

《駅まち空間》

線路を挟んだ南北のまちの一体感の醸成等を図るため、駅と再開発事業の連携による回遊性向上・利便性向上に向け引き続き検討していく。(組合と鉄道事業者で令和6年11月に駅との接続等に関する基本協定を締結)

《スケジュール》

スケジュールの変更

駅前街区 令和9～10年度竣工 → 駅前街区令和13年度竣工

北街区 令和12～14年度竣工 → 北街区令和17年度竣工

●組合設立認可

令和6年9月20日、都市再開発法第11条第1項の規定に基づき、第一種市街地再開発事業の施行区域内の宅地について所有権を有する者から組合設立認可の申請がなされ、今後も内容の精査や見直しを継続して着実に実施していくことで、市としても適正な事業となることを確認し、令和6年11月11日、組合設立認可を行った。

(2) 今後の取組

- 引き続き、事業費、スケジュールの精査等により効率的・効果的な事業となるよう継続して組合と調整するとともに、補助金に係る嵩上げ制度の適用に関する検討も進めていく。
- 工事については、再開発により建築敷地となる鷺沼線に埋設されているインフラの切り回し工事に令和7年度に着手し、北街区の令和17年度の竣工に向け事業を推進。

6 駅アクセス向上に向けた取組

- 鷺沼駅周辺の交通環境については、交通広場の拡充、交差点の集約化や周辺道路への右左折レーンの設置などの駅周辺の交通流の改善等について、引き続き、再開発事業の進捗に合わせて検討を進めていく。
- 引き続き、「路線バスネットワークの充実」とあわせて、駅アクセス向上に関する取組を推進するとともに、進捗を踏まえ、適時適切に情報提供していく。

7 全体スケジュール（予定）

- 関係局間での丁寧な情報共有を行いながら、必要に応じて全体スケジュールを調整し、各取組を着実に進めていく。

[令和7年4月時点のスケジュール]

年度		H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	R17 (2035)	R18 (2036)
ミライづくりプロジェクト	市民館 図書館	基本方針策定	基本的な考え方・基本計画策定	設計・管理運営計画策定に向けた取組						管理運営計画策定	整備工事				供用開始					
	区役所		施設全体の設計との調整				基本計画策定に向けた取組				基本計画策定	設計		整備工事			供用開始			
	現施設用地		基礎調査・市民参加による検討・実践的な取組								活用に関する基本的な考え方策定	活用基本方針策定	市民参加による実践的な取組の展開						新用途整備等	
	向丘出張所		市民参加による検討	活用方針策定	活用方針に基づく取組の推進															
	再開発		計画検討	環境アセス手続・都市計画手続				基本設計	組合設立手続	実施設計	駅前街区工事				竣工	北街区工事			竣工	